

# 当社の原子力発電所の状況

平成28年10月31日  
関西電力株式会社

# 目次

## 1. 再稼動への取組み

## 2. トピックス

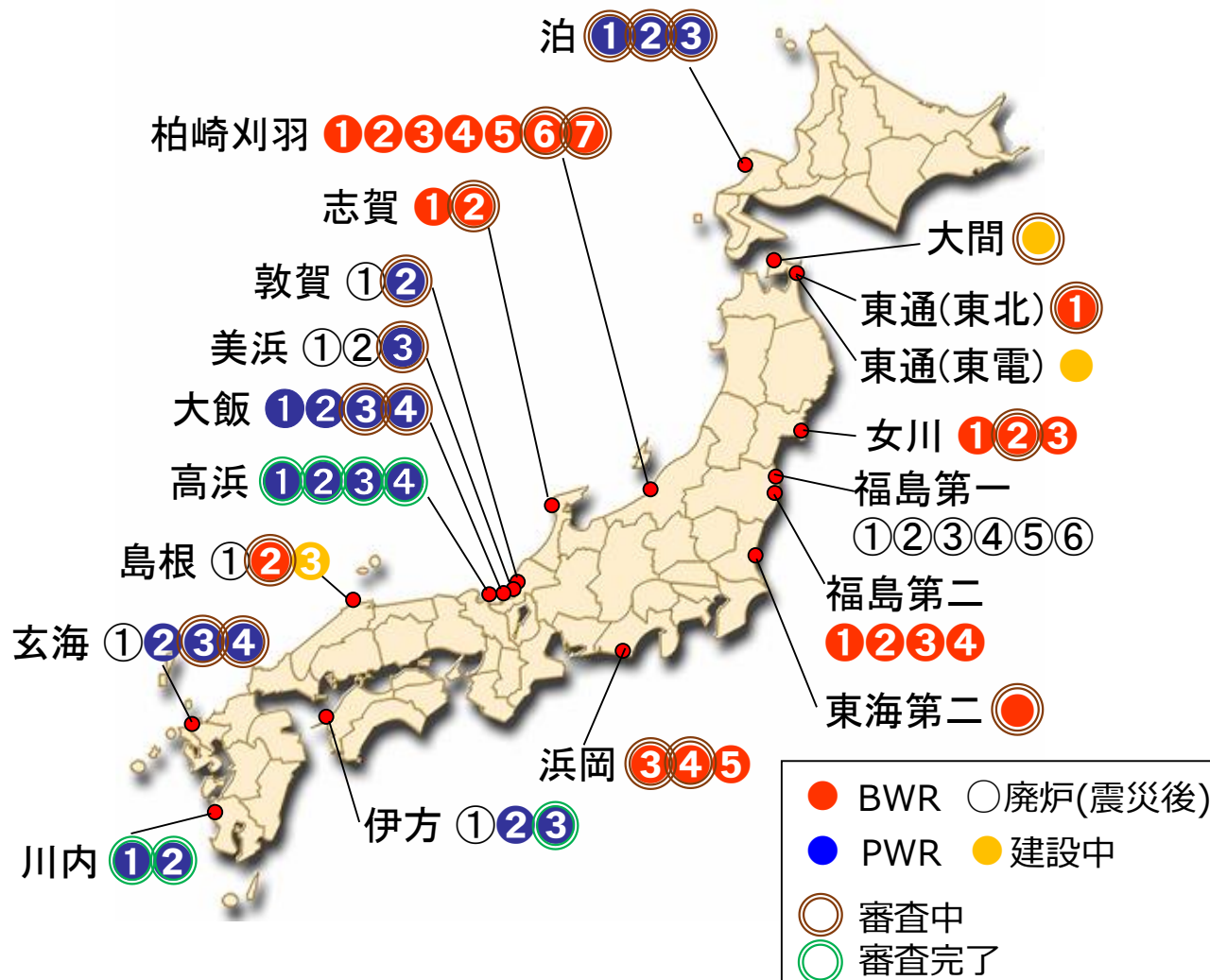
- (1) 高浜3、4号機における再稼動禁止に係る仮処分
- (2) 原子力事業における相互協力
- (3) 原子力防災訓練

## 3. まとめ

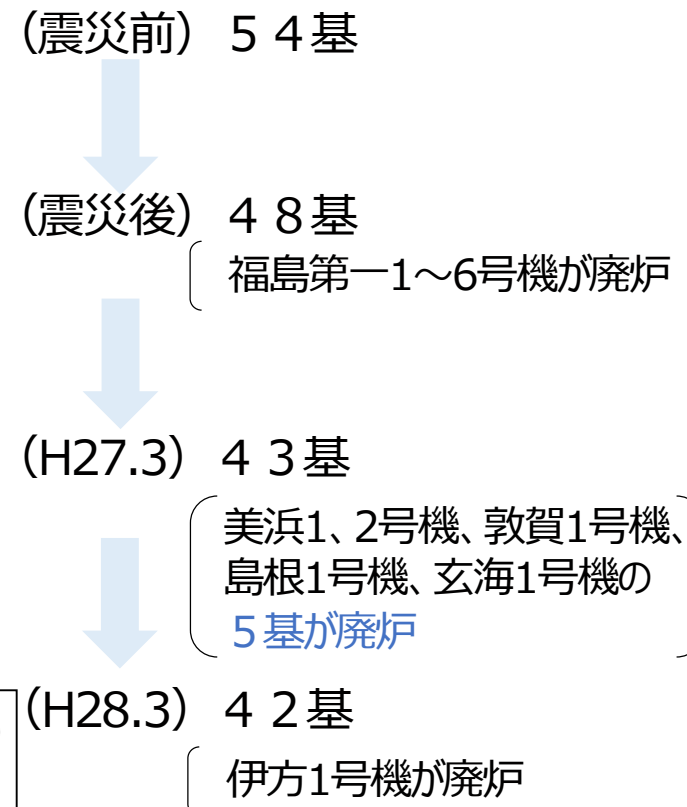
# 1. 再稼動への取組み

# 全国の原子力発電所の現状

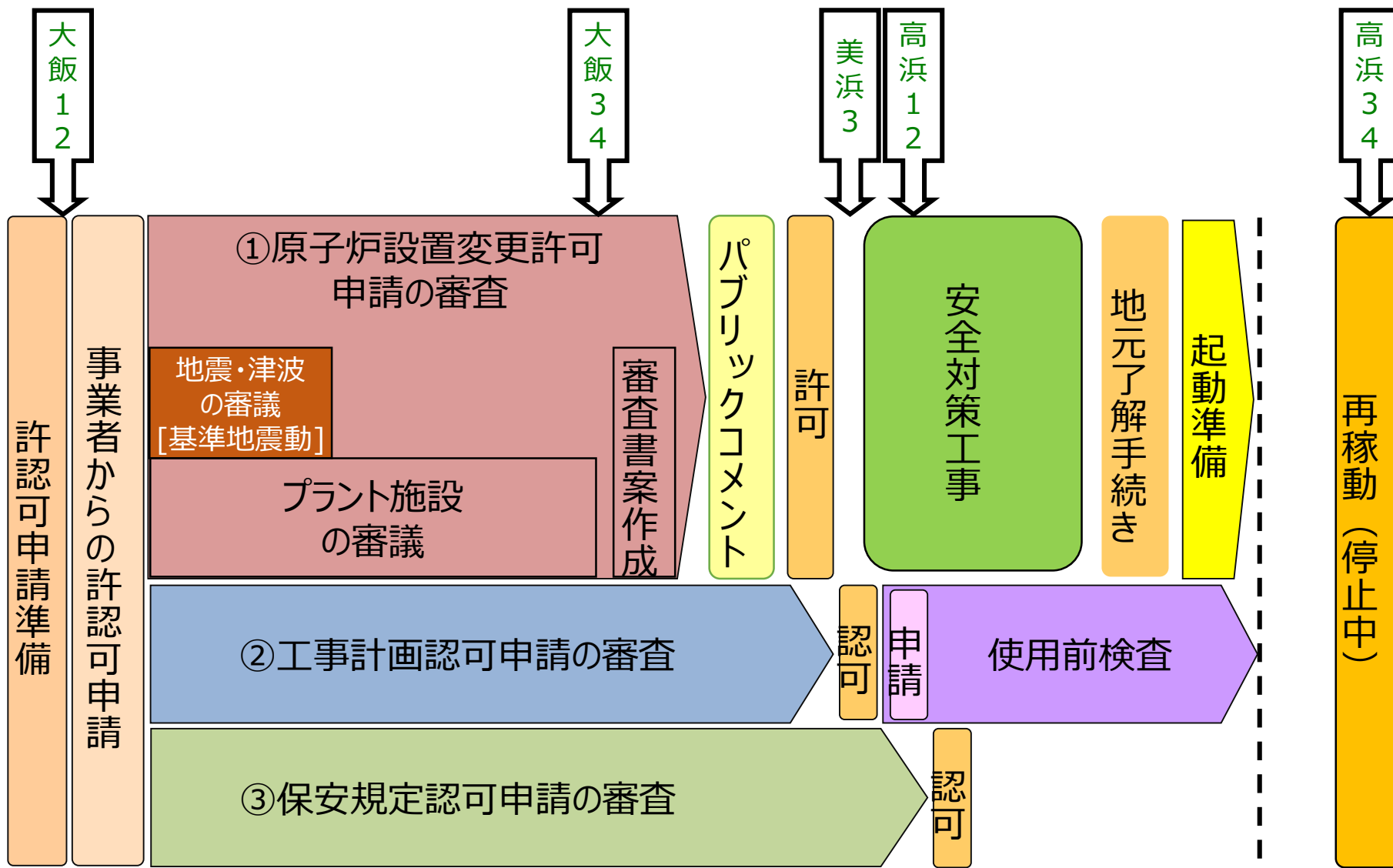
- 新規規制基準適合性に係る審査を19基（PWR:9基、BWR:10基）が実施中
- 7基（PWR 7基：川内1、2号、高浜3、4号、伊方3号、高浜1、2号）が審査完了



## ＜原子力発電所のプラント数＞

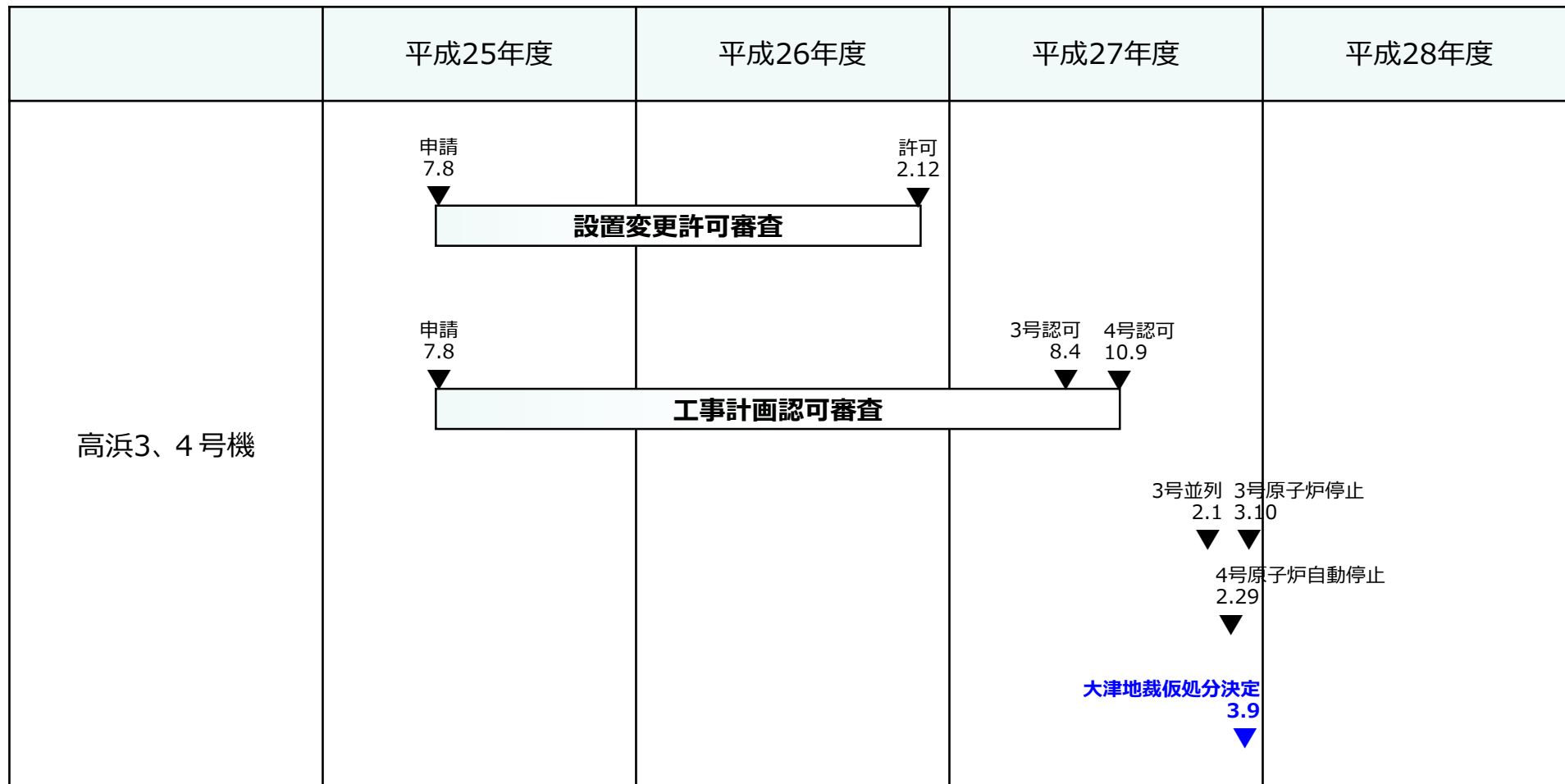


● BWR ○ 廃炉(震災後)  
● PWR ● 建設中  
○ 審査中  
○ 審査完了



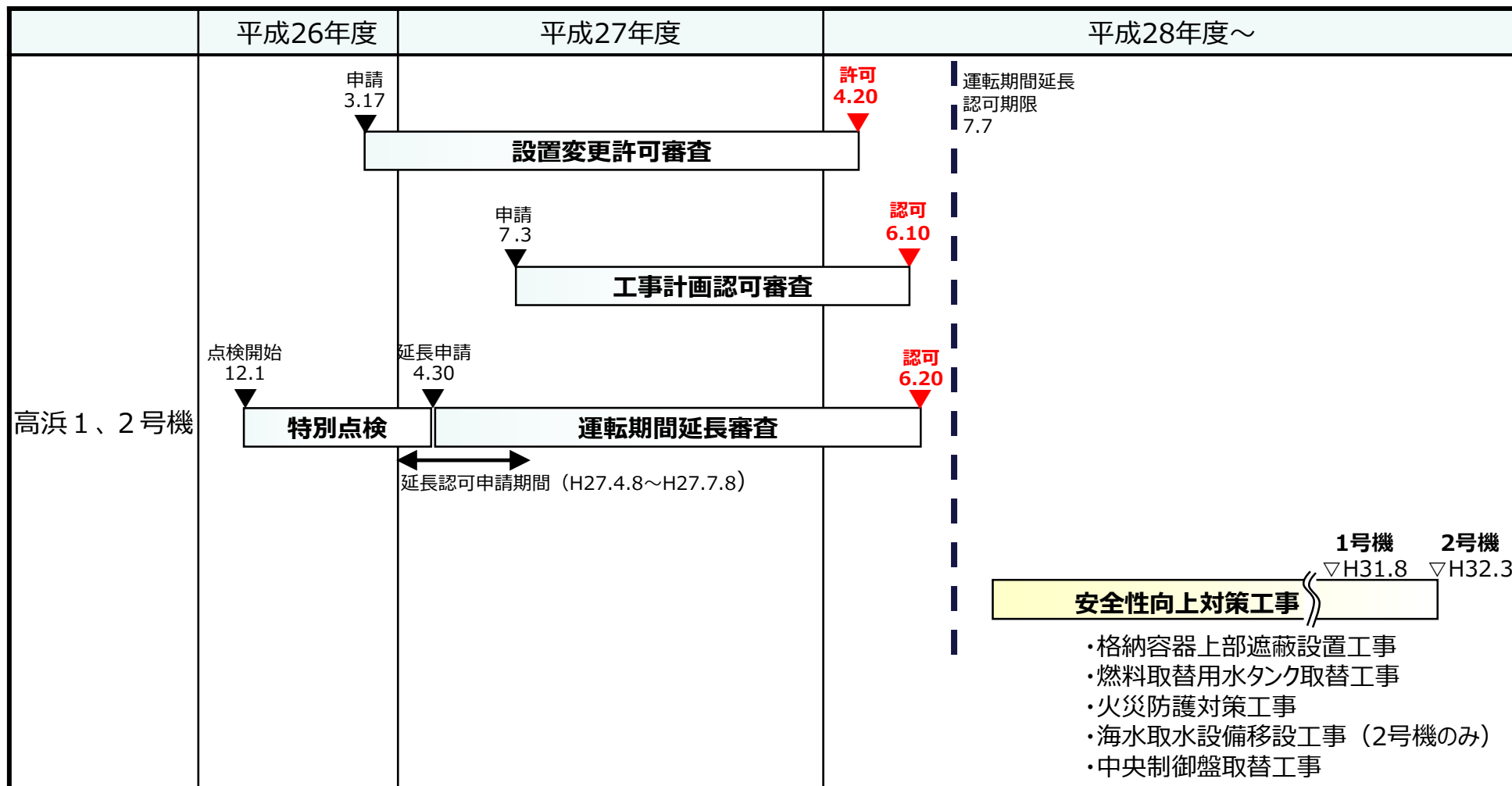
# 高浜 3、4号機の状況

- 再稼動に係る許認可審査は完了したが、大津地裁仮処分命令に伴い停止中。
- 大阪高裁にて保全抗告審中。



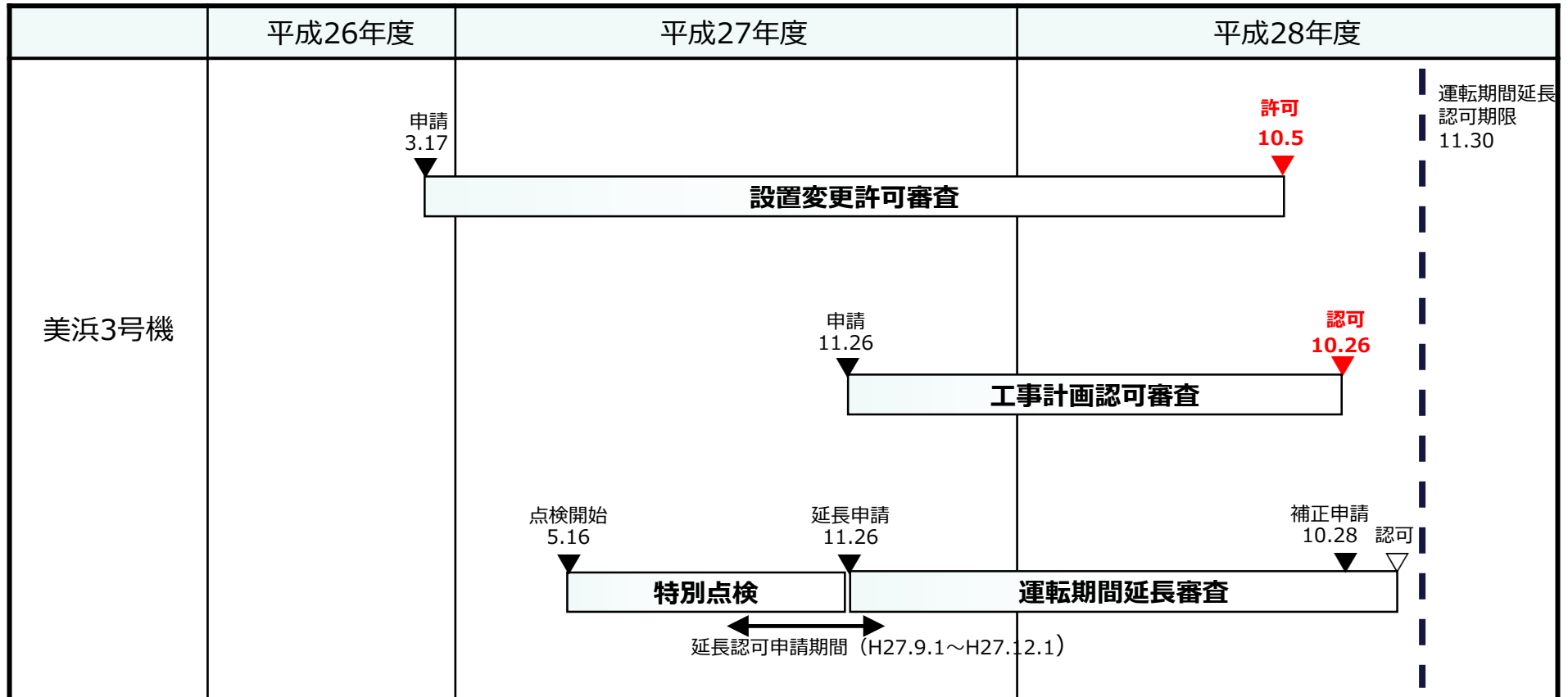
# 高浜 1、2号機 の状況

- 再稼動に係る許認可審査、および運転期間延長に係る審査は完了している。
- 60年までの運転に向けた安全性向上対策工事を実施中。



# 美浜3号機の審査状況

- 10月5日に設置変更許可、10月26日に工事計画認可を取得し、運転延長認可に係る審査対応中。  
期限までに運転期間延長の認可を取得できる見通し。
- 運転期間延長の認可を取得後に、具体的な安全性向上対策工事の内容・工程を策定予定。





# 大飯3、4号機の審査状況

- 設置変更許可に係る審査は既に大半が終了しており、残る審査会合案件は1件のみ。
- 原子炉設置変更許可の補正書を提出したが、美浜3号機の審査が優先され、大飯3、4号機の審査が遅延している。美浜3号機の工事計画認可の審査が終了したため、大飯3、4号機の審査が再開。

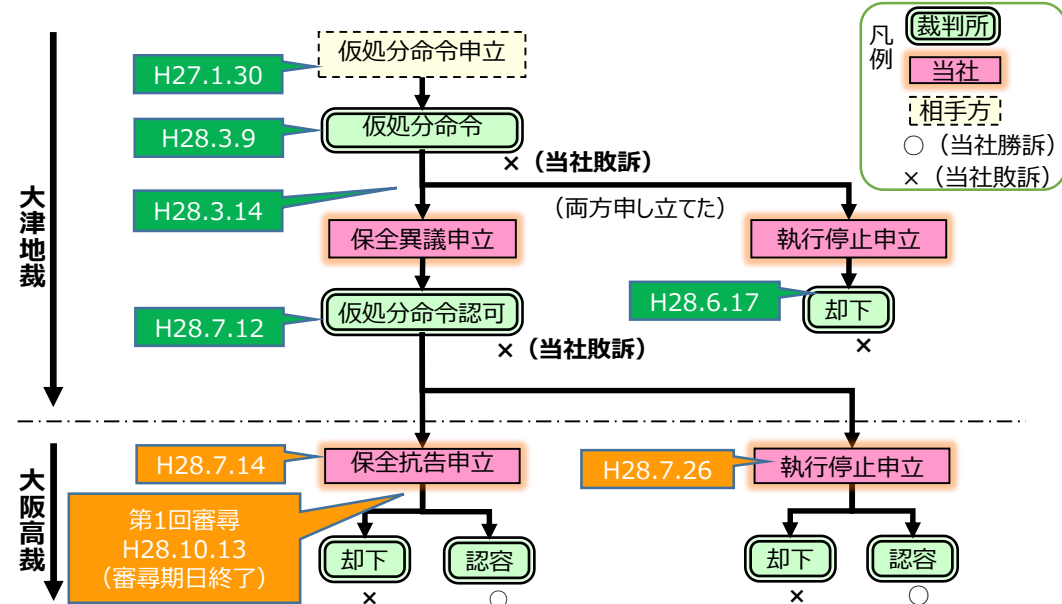
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度～
大飯3、4号機	設置変更許可申請 H25.7.8			補正申請 H28.5.18
	設置変更許可審査			
	工事計画認可申請 H25.7.8			補正申請
工事計画認可審査				認可

## 2. トピックス

- (1) 高浜3、4号機における再稼動禁止に係る仮処分
- (2) 原子力事業における相互協力
- (3) 原子力防災訓練

# (1) 高浜3、4号機における再稼動禁止に係る仮処分

- 申立日：平成27年1月30日
- 裁判所：大津地方裁判所（原審・異議審）  
⇒ 大阪高等裁判所（抗告審）
- 申立人：滋賀県の住民29名
- 申立の内容：高浜3、4号機の再稼動禁止



○審理の経過：

平成28年 3月 9日	高浜3, 4号機の運転差止めを認める仮処分決定 (大津地裁)
平成28年 3月14日	大津地裁に対して、不服申立て
平成28年 7月12日	仮処分決定を認可する決定 (大津地裁)
<b>平成28年 7月14日</b>	<b>大阪高裁に対して、不服申立て (保全抗告申立て)</b>
<b>平成28年10月13日</b>	<b>大阪高裁保全抗告審 第1回審尋 (審尋期日終了)</b>
<b>平成28年12月26日(予定)</b>	<b>審理終結 (決定日は未定)</b>

**【7/12異議審決定に対する当社主張】**

- ・判断枠組みについて合理性が認められない。
- ・科学的、専門的知見を踏まえた客観的な判断が行われていない。
- ・事実誤認等に対する判断を回避している。

## (2) 原子力事業における相互協力 (西日本5社アライアンス)

### ○平成28年4月22日

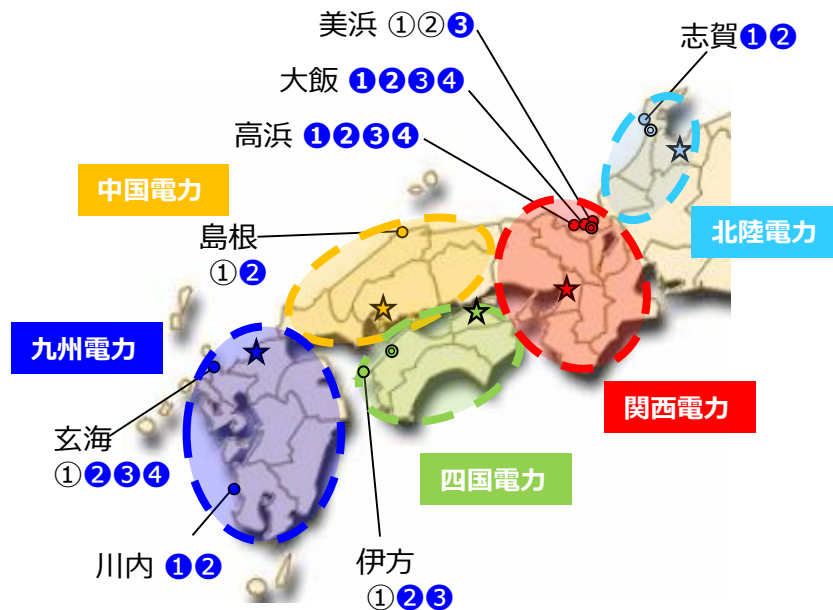
関西電力、中国電力、四国電力および九州電力は、**地理的近接性**を活かし、原子力事業における相互協力をを行うことについて合意し、4社間で協定を締結。

### ○平成28年8月5日

北陸電力が参加し、5社間で協定を締結。

#### 協力内容

- ・ **原子力災害時における協力**
- ・ 廃止措置実施における協力
- ・ 特定重大事故等対処施設設置における協力



西日本5社による相互協力の取組みとして、8月27日の高浜発電所訓練において、初めての相互協力による訓練を実施。

#### <訓練実施状況>

- ① 避難住民に対する避難退域時検査支援 (5社計19名が参加)
- ② テレビ会議を活用した原子力部門トップ間の情報共有 (CNO会議・5社計37名が参加)、資材の支援要請

⇒ 訓練を通じて得られた気づき事項、反省点を、今後各社で共有、議論するとともに、他社の訓練にも積極的に参加することで、緊急時の対応能力および相互支援能力の更なる向上に努めていく。



協定各社による避難退域時検査支援

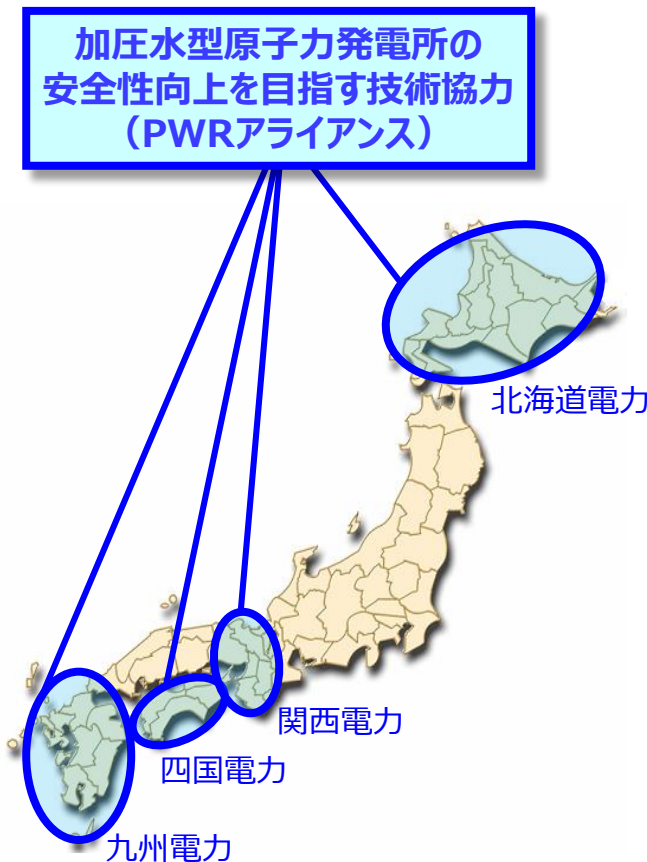


西日本5社協定に基づくCNO会議

### ○平成28年10月19日

北海道電力、関西電力、四国電力および九州電力は、各社の原子力発電所（加圧水型原子力発電所：PWR）の炉型の同一性を活かし、安全性向上に向けた技術協力を行うことについて合意し、4社間で協定を締結。

協力内容	具体的な取り組み
① 安全性向上評価の推進	○評価方法、設備・運用対策に係る情報共有、更なる安全性向上対策の共同検討 等
② 運転管理等に係る海外知見、ノウハウ等の共有拡充	○運転管理、保守管理、放射線管理等の海外知見やノウハウに係る情報共有、相互ベンチマーキング調査 等
③ 既設炉の更なる安全性向上に向けた次世代軽水炉等の新技術の調査・検討の推進	○次世代軽水炉、新型炉等の新技術の共同調査 ○調査結果を踏まえた、既設炉の更なる安全性向上の検討 等



上記の他、相互協力により、更なる安全性向上が期待できるものがあれば、実施していく。

# (3) 原子力防災訓練 (事故時対応能力の向上)

○防災訓練を実施し、事故時対応能力の向上などソフト対策の強化・充実を図っている。

### 【当社で実施している防災訓練】

- ・原子力防災訓練 (1回/年・各発電所)
- ・全社総合防災訓練 (1回/年・当社)
- ・福井県、国等が参加した全社原子力総合防災訓練 (美浜,高浜,大飯,敦賀(原電)で毎年持ち回り)

○今年度は、これまでに高浜地域および大飯地域で訓練を実施済み。8月27日の高浜地域の訓練においては、西日本5社による相互協力の取組みとして、初めての相互協力による訓練を実施。

	高浜地域合同訓練	大飯地域訓練
実施日時	平成28年8月27日 (土) 7:00~14:30	平成28年8月28日 (日) 7:00~13:30
主な参加機関	○内閣府、福井県、関係市町 京都府、滋賀県、関西広域連合 等 約150機関、約2,000人、 住民約7,100人 (福井県民避難者数:約700人) ○当社 (岩根社長以下 約480人)	○内閣府、福井県、関係市町 等  約100機関、約1,000人、 住民約1,650人 (福井県民避難者数:約150人) ○当社 (豊松原子力事業本部長以下 約330人)

高浜地域防災訓練  
(8月27日)



### 3. まとめ

- 原子力発電所の安全審査や使用前検査に、引き続き、真摯に対応するとともに、当社の取組み内容について、立地地域の皆さまのご理解を賜りながら、安全性が確認された原子力プラントの1日も早い再稼働に、全力で取り組んでまいります
- 高浜3、4号機は、早期に運転差止に係る仮処分を取り消していただくよう、安全性の主張・立証に全力を尽くします
- 当社は、引き続き、原子力発電の安全性向上に向けて、たゆまぬ努力を続けてまいります